

広島都市学園大学大学院 保健学研究科 入学試験（小論文）出題の意図

1 出題の意図

本研究科は、社会情勢の変化・ニーズに応えうる地域医療の提供と、地域や住民の特性を活かした医療実践による医療の質の向上に貢献できる人材を求めています。

本問題では、人口減少と高齢化に関する統計を示し、それが社会に与える影響と対策を「医療の見地から」考察することを求めました。資料を正確に読み取る基礎的な力、社会の動向を保健・医療の課題としてとらえる視点、自らの考えを筋道立てて表現する力を総合的にみることをねらいとしています。

2 評価の観点

- ① **資料の読み取りと基礎的な知識** 示された統計（総人口の減少、75 歳以上人口の割合の上昇、2040 年の高齢化率の見通し）を正確にとらえ、人口減少と高齢化が同時に進むことを踏まえて論じているか。〔AP：学士課程レベルの基礎的な知識〕
- ② **影響の多面的な分析** 人口減少が医療・保健に及ぼす影響を、医療の需要と提供体制の両面から多面的にとらえているか。〔AP：保健学全般への関心、柔軟な発想〕
- ③ **対策の具体性と実現可能性** 医療の見地から、根拠を示しつつ具体的で実現可能な対策を示しているか。自らの実践経験や関心のある領域と結び付けて論じていれば、なお望ましい。〔AP：高度専門職業人・教育研究者として実践と発展に貢献する意欲〕
- ④ **論理的な構成と表現** 影響から対策への論理の筋道が明確で、指定字数（600 字から 800 字）の範囲で、自分の意見を的確な日本語で述べているか。〔AP：論理的思考、積極的に意見を表明できる能力〕